

＜宮城野区中央市民センター＞の取組み【目標3-①】

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

「原町キッズもりあげ隊」は、宮城野区中央市民センターが平成24年度から開催している「こども商工会」が平成26年度から講座名を「原町キッズもりあげ隊」に替えて開催している講座です。平成27年度は、より地域に密着した活動を展開しました。

原町小学校3年生から6年生までの10名が原町をもっと盛り上げようと12回の企画会議を行い、2回の講座を開催しました。

8月9日（日）は、原町小学校校庭で開催する原町夏まつりに手作り縁日を出店し、原町学区民体育振興会や原町商工会からの協力を得て、「子どもから大人までが楽しめる祭り」を開催し、160名の方々楽しんでいただきました。

また、12月20日（日）は、みんなが集う場所がない原町に「子どもから高齢者までが集える場所をつくりたい」という意見から「原カフェ」を開催しました。日頃の活動に対していろいろ協力して下さっている学校・商工会・家族・友人の方々を招待し、お茶とお菓子とあそびのコーナーを作り、80名の地域の方々と交流し、楽しい時間を過ごしました。これからも地域の団体と協力しながら、地域が元気になる取組みを行っていきます。



夏まつりの様子



企画会議の様子



原カフェの
記念撮影



原カフェでかるたをしている様子



原カフェの看板ができました

＜高砂市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

高砂市民センターでは夏休みの時期に合わせ、管内の高砂小学校、岡田小学校に加え、高砂市民センターで活動しているサークルや高砂中学校と連携して「夏休み学びの講座」を開催しました。

高砂小学校では、小学校と市民センターを会場に小・中学校の先生や地域サークルの先生が講師となって、新体操や人形劇、そば打ちなどの講座を開催しました。普段の授業では体験できない活動や交流を提供したことで、参加した児童や保護者からは新たな分野への興味関心を楽しく広げることができた后感想がありました。また講師を務めていただいた地域の方と小学生との交流の場ともなっています。

平成27年度が2回目となった岡田小学校では前年度に引き続き当館の八柳館長が講師となり、「みえないものを見てみよう」と題し放射線を扱った科学教室を開催しました。集まった児童はとても好奇心旺盛な子が多く、放射線測定や霧箱を使った放射線の観察を熱心に行っていた姿が印象的でした。



＜岩切市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

①「すすむしの里づくり実行委員会」

実行委員会の事務局として、仙台市の虫である「すすむし」を一年を通して岩切市民センター内で飼育すると共に、自然界で生息できるよう岩切保育所の園児と共に実験放虫を行いました。また、岩切市民センターや他の市民センターで「すすむし」の配布会を実施し、他にも岩切小学校を含め7つの小学校で出前講座、岩切地区コミュニティ祭りに参加するなど、他の市民センター、小学校と調整をいたしました。

②「岩切歴史探訪の会」

岩切市民センター・岩切小学校連携講座「地元学」では、岩切市民センターで活動されている「岩切歴史探訪の会」を講師として迎え、岩切小学校で小学生を対象に、「からむし」を材料としてストラップを作りました。その他、岩切の歴史に関する問い合わせ・依頼があった場合、岩切歴史探訪の会をご紹介します。

③「岩切そば倶楽部」

岩切市民センター主催講座「子どもの広場」では、岩切市民センターで活動されている「岩切そば倶楽部」を講師として迎え、小学生と保護者を対象に「そば打ち教室」を実施しました。

*その他、お客様から「〇〇を勉強したい」「サークルに入りたい」と要望があった時には、お客様の要望に合った団体・サークルをご紹介します。

①河川敷にて「すすむし」の実験放虫



①「すすむし」配布会の様子



②「地元学」
からむし体験の様子



③「子どもの広場」
親子でそば打ちに挑戦！



＜鶴ヶ谷市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

東日本大震災の時、中学生が指定避難所などで積極的にボランティア活動に参加し、地域の人々から高い評価を得ました。

鶴ヶ谷市民センターでは以前から地区内の中学校2校と連携し、中学生に対し避難所運営に必要な知識や技能の体得と、人命救助方法などを経験してもらうことにより、防災に対する意識を高める取り組みを行っています。

実施に当たっては、地域ボランティアの協力や指導を得て行っています。



＜榴ヶ岡市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

平成27年度、榴ヶ岡市民センターはさまざまな団体と連携し、活動をつないできました。

まず、榴岡地区に2つの復興公営住宅ができることで、たくさんの団体からなる復興公営住宅支援者の会が活動していましたが、当センターもそのメンバーとして参加し、ウェルカムイベントに地域の団体を仲介するなどしました。また、地域の4団体と連携して、地域活性化のための『ハートフルステージ in 榴岡』というイベントを開催しました。それぞれの団体の活動がより広がり、大きな成果が得られたということと、仲介した団体が活動を通して、地域に広く知られるお手伝いできたと感じています。



「復興公営住宅
ウェルカムイベント」

準備風景と地元高校生
によるステージの様子

「ハートフルステージ in 榴岡」

受付、地域で活動しているサークル
や小学生によるステージの様子



＜東部市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

地域の子ども達の地域への理解と高齢者との交流について

第10回 新田小学校連携「地域の方と昔遊び」教室開催

1月28日（木）9：30～11：30まで

新田小学校の第一学年（203人）の児童の皆さんと新田地区老人クラブ「新田北町老人クラブ」・「高瀬町老人クラブ」・「小鶴南部町内会老人クラブ南寿会」、新田地区福祉団体「新田よろこびの会」の方々（30人）をお迎えして楽しく昔遊び教室を開催しました。

「児童数が200名を超えているので、できるだけ多くの地域の高齢者の方にお声掛けがしたい」「地域の様子も含めた昔あそびにしたい」などの学校からのご要望でした。また、ご依頼した地域の高齢者の方々からは、孫よりも若い児童の皆さんとどのような事をしたらよいのか、などご質問を受けました。市民センターでは、地域の老人クラブや福祉団体にお声掛けをし、協力の依頼と新田地域での昭和の遊びについて各方面を調査し、内容について参加者の皆さんとお話しさせていただきました。

当日は、コマ回しやゴムとび・まりつき・羽子板・けん玉・ダルマ落とし・ビー玉遊び・おりがみ・あやとり・お手玉・紙すもう・福笑い、何と言っても新田は川や沼での魚釣り、もうみんな夢中で遊びました。おじいちゃんやおばあちゃんはかわいい子たちと遊ぶのが楽しみに来てくださいました。中にはひ孫さんと遊んだ方もいました。

おじいちゃん・おばあちゃん 来てくれてありがとう」「もう帰っちゃうの」「また来てね」「遊んでくれてありがとう。楽しかったです。」児童の感謝の言葉に「元気をもらってます」「子どもは地域の宝、一緒に遊んで楽しかった。」「大きくなってください」などと、老人クラブの方々は目を細めて答えていらっしゃいました。



＜幸町市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成 27 年度の取組みをご紹介します。

平成 13 年度から「学校へ行こう隊」という事業名で、市民センターが地域住民やサークルと学校をつなぐ役割を果たしてきました。栢江小学校・幸町小学校 学校支援地域本部・幸町南小学校とそれぞれ話し合いを重ねて、未来を担う子どもたちの健やかな育ちを支えるため、地域住民やサークルを紹介して学習をサポートしています。

- ①水泳授業ボランティア（栢江小学校 1・2 年生）6/16～9/4【10 回】地域の方 7 名が交代で着替えとプールサイドの見守りの活動をしました。児童と地域の方は、すっかり顔なじみになりました。
- ②昔話を聞く会（幸町南小学校 2 年生）11/17【1 回】「岩切昔語りボランティア青麻ぼっこ」の皆さんに昔ばなしをしていただきました。素話をじっくり聞いた児童たちは、想像力を膨らませたことでしょう。
- ③手話体験（幸町小学校 4 年生）11/26【1 回】「手話サークルたいよう」の皆さんをご紹介します。児童が手話通訳者を介してろう者から手話を学ぶ機会をつくることができました。
- ④しめ縄づくり（栢江小学校・幸町南小学校各 6 年生）12/4・12/8【2 回】地域在住の講師の指導のもとボランティア 7～8 名が取り組みました。児童は、縄をなう難しさに戸惑いながらもしめ縄を仕上げることができました。
- ⑤昔遊びの会（幸町小学校・幸町南小学校各 1 年生）12/10・1/14【2 回】各回 8 名のボランティアは、お手玉、あやとり、こま、めんこ、おはじき、けん玉で児童と交流を深めました。

参加した「学校へ行こう隊」隊員は、「子どもたちとふれあうのは楽しいね」「元気をもらっています。」と感想を述べています。児童からのお礼の言葉や感謝のお手紙も隊員にとって活動の励みとなっています。未来を担う子どもたちの健やかな育ちを地域で支える「学校へ行こう隊」の活動を通じて、子どもたちと地域の大人たちが共に育ちあっています。



③手話で「こんにちは」



④「松・ゆずりは・昆布も飾るよ」



⑤「コツがいるね」めんこ

＜田子市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

ちょっとひと息タイム～子育てしゃべり場

田子市民センターと田子社会学級、田子中学校PTA、田子児童館子育て支援クラブの4者が企画会議を持ち、子育て中の地域住民が世代を越えて交流し、家庭教育について学び考える場を提供しました。

「子供が同世代との親同士はつながりが持てるが、小学校や中学校の様子がわからない」という子育て支援クラブの乳幼児の親や「自分の子育てで後悔していることを若いお母さんには伝えておきたい」という社会人の子を持つ親の意見から4者での企画会議が始まり（平成24年）、その企画会議から「ちょっとひと息タイム～子育てしゃべり場」が講座として誕生しました。

今年度、第1回目は「子どもロコモってなあに？」を、第2回目は「子どもの話したい気持ちをつぶさない聴き方」をテーマに講話と実技を行い、その後お茶とお菓子を囲みながらのグループによる話し合いと発表という形式で開催されました。託児付としたことで、乳幼児のお母さんもじっくりと学ぶことができ、また後半のおしゃべり会では熱のこもったグループは話し合いの時間が足りないほどでした。



託児の様子

＜福室市民センター＞の取組み〔目標3-①〕

地域の方々や団体がつながることで、それぞれの活動がより広がりを持ち、地域が活性化することを願い、そのためのお手伝いをさせていただいております。

平成27年度の取組みをご紹介します。

地域がつながるためのキーワードは「こどもたち」。そんな考えのもと、地域の方々の協力を得ながら、今年も福室小学校、中野栄小学校との連携事業に取り組みました。学年毎に適切な内容として「昔あそび体験（1年）」 「地域の歴史ウォーク（3年）」 「戦争体験を聴く（6年）」というテーマを設定し、地域の方々を講師になっていただき、授業の一環として展開していきました。

高砂第二地区民生員児童委員の皆さん、市民センターの講座から立ちあがった「高砂おたから探訪の会」のメンバー、海外で悲惨な戦争体験をした女性など、地域の方々に快く講師を引き受けて下さり、子供達との楽しい交流の時間を持つことが出来ました。

反省会では、出席者の中から「こういう取り組みの中に、地元の老人クラブも是非、参加してもらいたい」という声上がり、「中野栄小昔あそび体験(1年)」と中野栄小学校で取り組んでいる「学びのコミュニティ推進事業：学コミ中野栄学舎」の昔あそびコーナーに、さっそく参加していただきました。

